学校番号	２１２

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　改訂版　日本史Ａ　（第一学習社）						
副教材等	最新日本史図表　三訂版　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1. 本校には、進学希望者だけでなく、就職希望者もいるので、基本的な内容を基本的な技能を使って扱う中で、歴史に関する関心や意欲を高め、日本の歴史と今後の日本について考え、表現するような授業展開をはかる
2. 生徒たちが、政治参加していくこともふまえ、歴史上の課題について「自分ならどうするか」という意思決定させることを繰り返す中で、自分のあり方・生き方や社会のあり方を考えられるような授業展開をはかる

２　学習の到達目標

１．近代日本の歩みを学習する中で、政治・経済・社会・文化の歴史認識を養う
２．近代以降、世界とつながる中で、「世界の中の日本」というグローバルな視野で歴史をとらえる力を養う
３．今後の日本の発展・役割等と日本国民としての責任・貢献等を考える資質を養う
４．史料に基づいて歴史を認識するという歴史学の方法の基礎を身につける

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	開国、新政府の樹立、対外進出から2度にわたる大戦といった日本の歴史に関心を持ち、意欲的に追求しようとしている	新政府の政策とその結果、対外進出にいたる日本の国内事情や国際関係、大日本帝国憲法体制について、考察し、自分ならどうするか判断し、適切に表現している	教科書に記載されている史料や、担当者の方で選択した史料を読み取ることができる（文字史料の意味を理解したり、絵画史料から当時の様子をイメージしたりすることができる）	開国から新政府の政策から海外進出、そして二度にわたる大戦と敗戦に関する歴史の知識を身につけ、歴史理解ができている
評価方法	感想文	授業における教師からの発問に対する回答 定期考査	授業における史料読解の作業における取り組み 定期考査	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期中間	明治維新　近代国家の形成	開国から倒幕へ 明治維新・新政府の成立 文明開化 地租改正・富国強兵 アジア外交	○ ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:開国から幕府の滅亡、そして新政府の成立と発展に関心を持ち、意欲的に追究している b：開国にともなう日本社会の混乱や、江戸幕府が倒れていく過程、新政府がとった政策について考察・判断し、それを適切に表現している c:新政府の政策に関する史料や、明治時代に外国人が描いた風刺漫画などから、当時の社会の様子を読み取ることができる d:新政府の諸政策や対外関係に関する知識を身につけている	授業時の発問 史料読解 ノート提出 テスト
一学期期末	近代国家の形成	自由民権運動の開始と進展 私擬憲法と政党の結成 松方財政と民権運動の激化 大日本帝国憲法の制定 条約改正	 ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:民権運動から国会の開設・憲法の制定にいたる過程の民衆の動きに関心を持ち、意欲的に追及している b:　民衆が自由や権利を求め始めた背景や、民権運動が日本社会に与えた影響について考察・判断し、それを適切に表現している c:各種の法律・命令や、風刺漫画、雑誌・新聞などの諸資料などから民権運動の様子を読み取ることができる d:民権運動から国会の開設・憲法の制定、条約改正の過程に関する知識を身につけている	授業時の発問 史料読解 ノート提出 テスト

二学期中間	国際関係の推移 近代産業の発展 第一次世界大戦と日本	朝鮮政策と日清戦争 日清戦争後の東アジア 日露戦争 韓国併合 産業革命と社会問題の発生 大正デモクラシー 第１次世界大戦	○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:日清・日露戦争とその前後のアジアや欧米諸国との関係の推移、産業革命にともなう社会問題から大正デモクラシーにつながっていく動き、第一次世界大戦が起こった背景や影響などに関心を持ち、意欲的に追究しようとしている b:日本の国内事情や当時の国際関係に着目しつつ、日清、日露、第一次世界大戦の経過や結果について考察、判断し、それを適切に表現している c:産業革命時の社会問題や、大正デモクラシーの諸資料などから当時の社会の様子や天皇主権の中で民衆が権利を求めていった様子を読み取ることができる d:日清・日露戦争、朝鮮の植民地支配、第一次世界大戦から社会運動の展開に至る知識を身につけている	授業時の発問 史料読解 ノート提出 テスト
二学期期末	第一次世界大戦と日本 第二次世界大戦と日本	第一次世界大戦後の世界 第一次世界大戦と日本経済 社会運動の進展 普通選挙法と治安維持法 恐慌から侵略戦争へ 満州事変	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:第 1 次大戦後の国際社会や日本社会の変化にともない日本が戦争へと進んでいった経過に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている b:国際社会や日本の情勢の変化にともない、なぜ日本が大陸進出を図ろうとしたのかを考察・判断し、それを適切に表現している c:グラフなどから大戦にともなう日本経済の発展の様子を読み取り、それにともなう民衆の動きについて、諸史料から読み取ることができる。 d:第 1 次大戦後の社会運動や普通選挙実現、不景気から大陸進出に進んでいく過程に関する知識を身につけている	授業時の発問 史料読解 ノート提出 テスト

三学期学年末	第二次世界大戦と日本	日中戦争 第2次世界大戦と日本 アジア太平洋戦争 戦時下の文化 日本の敗戦	○ ○ ○	 ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○	a:15 年戦争や第 2 次世界大戦中の世界や日本の動きに関心を持ち、意欲的に追究しようとしている b:国内事情や国際関係にもとづき、なぜ 15 年戦争や第二次世界大戦に参戦することになったのか、考察・判断し、それを適切に表現している c:各種法令に関する史料を読み、日本が戦争にどのようにかかわったのかを読み取ることができる。 地域に残る戦争史料や新聞・雑誌・漫画などから戦時中の社会の様子を読み取ることができる d:戦争の過程、戦時中の内政や外交に関する知識を身につけている	授業時の発問 史料読解 ノート提出 テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:　資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。